

5月31日(水) 出発・ミニトマト・芽

5年生が**待ちに待った**宿泊学習です。天気も悪くありません。5年生の思い、てるてる坊主が通じたようです。出発式で私は、最悪の場合には**代わりに行く**準備をしていてくれた先生の話をしました。学年主任からは「**全力で楽しむ**ように」という話がありました。キャンプファイヤーも盛り上がったようで、初日は無事終わったようです。

ミニトマトの観察を終え、集合する前の2年生に出会いました。たくさん写真を見せてもらいましたが、中には**実物**のミニトマトを見せてくれた子もいます。「**桃のにおいがする**」と報告してくれた子もいます。写真を見せてくれる子がたくさんいるので、久しぶりに**生情報**をもらった感じがしました。

1年生の教室にはアサガオの観察カードが貼ってあります。タイトルが「めがでたよ」。様子が絵で書かれています。コメント欄にもかわいいことが書いてあります。

「はっばが**14まい**あったよ」「**いっぱいみずをあげた**よ」「**はやくおおき**くなってね」「また、**たくさんみずあげ**するよ」などなど。アサガオの成長に、自らが関与していることを実感してきたようです。



5月30日(火) 包丁・プール・あと一日

6年生の調理実習、野菜サラダを作りました。最も**警戒**して、**有効**に使いたいのは包丁です。絶対に**けが**だけはしてほしくありません。その教師の思いは、子供たちに十分に伝わっています。中にはおっかなびっくり野菜に歯を入れる子もいましたが、無事(無事故で)に野菜を切ることができたようです。**ボランティア**で来ていただいた保護者の目もあって、安心して活動できたようです。

元気っ子タイムに、6年生だけで**プール開き**を行いました。代表の子が「僕たちのおかげできれいになったプール。でも**安全**に使いましょう」という話をしてくれました。



私も子供たちに**水の事故の怖さ**について話しました。プール、川、海、湖で尊い命が毎年数多くなくなっています。今年の夏は、安全な水泳をしてもらいたいです。

朝校舎内を回っていると、**5年生**のある教室には「宿泊学習まで**あと一日**・・・」とのメッセージが書いてありました。北校舎を回っているとき、上の階から元気な声が聞こえてきます。だんだんと上がっていくと予想通り3階です。キャンプファイヤーで行う**ダンスの練習**をしているのです。練習というよりも**前祝い**をしている感じです。いよいよ明日。晴れるといいですね。



5月29日(月) ことば・ノート・教科書

入間市には「**ことばの教室**」があります。豊岡小学校に設置されています。難聴や言語の支援をするための教室です。そこへ通う子のことを理解するための授業を「ことばの教室」の**担当者**が行ってくれました。「**聞こえにくさ**」についての活動では、「雑音の近くにいる」「マスクをつけたまま話される」などの条件によって違いがあることを実感していました。**その人の身になって**話しかけ、聞いてあげる。これは人としての基本だと感じました。



1年生の算数では、ノートに問題や図を書く活動が入ってきました。この日は、**6 + 3**の場面を図で表す活動がありました。○を6こ書き、その隣に○を3こ書き、併せて9になることの理解につなげる活動です。面白い場面がありました。先生が黒板に○を6こ書き始めると、「**もう書けました!**」と一人の子が声を出しました。「**先生より早く書いたのですね**」と先生も友達も驚かせました。



2年生の算数では、長さの計算の仕方を考える課題が出ました。数分悩んでいたある子が、**教科書**を取り出し大事なヒントをつかみました。「**教科書○○ページに書いてあるぞ!**」。もちろん答えは書いてないのですが、やり方のヒントとなるものが書いてあったのです。先生に「○ページを開きなさい」と**言われる前**に見つける子。自走する



子が育ってきています。

5月28日（日）祝賀

本日は入間市にて、ある方をお祝いする会がありました。総勢100名近くが集まったと思いますが、懐かしい顔がたくさんありました。コロナ禍でずっと会えずにいた方々と久しぶりに会うことができました。このような会が当たり前になるとってはいけないのですが、できることに感謝したいです。

5月27日（土）鑑賞

午後出勤しました。残務整理等があったからです。校長室にこもるにはもったいない天気だったので、とりあえず校内を歩きました。そして廊下に掲示されている絵や作品をじっくり鑑賞しました。6年生の描いた「私のお気に入りの場所」の中に、学校全体を描いた絵がありました。作品説明の中に「6年間お世話になった。思い出がつまっている」という言葉があり、ジーンとききました。



5月26日（金）総会・歓送迎会

校長は一日出張です。新橋ニッショーホールで行われた全国連合小学校長会総会及び研修会に参加してきました。新橋の駅から会場までの道、スーツケースを持った校長先生がたくさんいました。鞆一つで済むありがたさを実感します。

この会場を少し早く失礼して、狭山市に向かいました。ある会の歓送迎会があったからです。コロナ禍で実施できないことが3年続いていた会。久しぶりに実施できたことが本当にうれしかったです。



5月25日(木) 調理・武器?・虹

調理実習を終えた5年生が班ごとに職員室にやってきました。「じゃがいもをゆでました。食べてください」ということです。「ゆであがるのをずっと待っているのがたいへんだ」「柔らかくなりすぎないように、湯加減が難しかった」などの感想を聞かせてくれました。毎回、調理実習ではボランティアで保護者の方々に入っていただき助かっています。



図工室から出てきた5年生が木工作品を持っています。まだ未完成。「何を作っているのか」を聞いてみると、ひととき長いものを持っている子がいます。ヒーロー戦隊が持っている(?)武器のようです。「ガラクタを集めたらこうなった」と答えてくれました。その話を聞いていた周りの子が「〇〇すげー」「〇〇さん、すごいね!」と〇〇さんをほめてくれました。扇小には、優しい子が、本当に多いです。



前日の音楽朝会で歌った「虹」を2年生が歌っていました。昨日の盛り上がりを引き継いだような、元気な声。はつらつした動きです。全校で行ったことが、各クラスに広まり高まりを見せています。コロナ禍ではなかなかできなかった集会ですが、やはり大事なのだと改めて感じました。



5月24日(水) 虹・家族・わり算

音楽朝会。「虹」を歌いました。まず最初に手話付きで見本を見せてくれたのは4年生です。曲紹介をしてくれたのも4年生です。「今日、みんなで歌う曲は虹です。雨ありの夕方に日が差し込むと……、ぼくは虹が出るといいことが起きそうで、わくわくします。皆さんは、幸せが訪れるように感じませんか?」と話してくれました。校庭にて、全校で、手話付きでの大合唱。とっても素敵な時間になりました。



6年生が道徳で家族の大切さについて考えました。学習を通して学んだことを「家族とは?」「家族に何ができるか?」を**こころのおと**に書きました。ある子は「家族が**一番大事**」と書きました。またある子は「**オムライス**を作ってあげたい」と、ある子は「今できないこともできるようになって、**家族のために**してあげたい」と書きました。最後に発表した子は、「家族とは**幸せを共有**して、**悲しみを打ち明け**あいたい」と発表してくれました。とても大事な学びがあったようです。



3年生のわり算の勉強で「 $0 \div 4$ 」が登場しました。「割れないよ」という声が上がると「割れなかったらやっても**意味ない**じゃん」という素朴な声が上がりました。その反面「簡単だ」「0が出てきたら**答えは同じ**、かけ算でもそうだった」という声があがりました。私は授業を見ながらとても大事にしたい**つぶやき**があることに気づきました。計算で答えを出すよりも大事なことです。



5月23日(火) 交通安全・さや・相撲

交通安全教室がありました。「自転車に乗る前にどんなことをしますか」、指導員の方に聞かれた子供たちは真っ先に「**ヘルメット**」と答えました。その次に「**点検**」が出てきました。ヘルメットや出発前の点検が常識になったことは素直にうれしく思いますが、実施しているかどうかについては心配な面もあります。**知識と行動**は別ですから。



給食にはソラマメが出ました。これは、2年生がさやむきをしたものです。観察ワークにはこんなことが書いてありました。「色は**黄緑**、形は丸で**ふにやふにや**」「**パキッ**という音がした」「さわると**ふわふわ**した感じがした」

「大きさは**人さし指**くらい」「知らないにおいがした」「表はふわふわで、うらは**ざらざら**でした」「さわった感じは、**もふもふ、つるつる**」。五感を使って様々な感想を持ったようです。触れたことによって、たくさんの感じをもった



のでしょう。

校内に「わんぱく相撲」のポスターが貼られました。そのキャッチフレーズにジーンと来てしまいました。「**ずっと、待っていたんだ。全力でぶつかり合えるこの場所を。**」規制の多かったコロナ禍の3年間、「ずっとやりたかった」ということがたくさんあったはずです。わんぱく相撲に出たかった子、我慢していた子、今年は思い切って全力で戦ってもらいたいです。



5月22日(月) UD、歓送迎

振替休業日ですが出張があったため出勤しました。夜、市内で行われる歓送迎会に参加するために、初めて電車でお勤しました。駅からはバスです。思った以上に時間がかかることを知りました。午後は近隣市の学校へ出向きユニバーサルデザインの話をしてもらいました。障害のある子もない子もわかる授業づくりについて、改めて考える機会となりました。



5月21日(日) お気に入り

6年生の廊下には「私のお気に入りの場所」という作品が貼ってあります。タイトル通り、自分のお気に入りの場所を選んで絵にした作品です。学校で描いたので、学校内の場所を選んだ子がほとんどです。その中でも、教室を選んできた子の絵を見ると、うれしい気持ちになります。



5月20日(土) 待ち人・お茶・避難

1年生が体育館への通路に集まっているのには理由があります。家の人に来るのを待ち焦がれているのです。1年生にとっては初めての**授業参観**。きっと前々から「見に行く」ことを告げられて、張り切って今日を迎えたはず。ある子が私の方に笑顔で寄ってきたので「こんにちは」と



言ったら、「**なんだ**、校長先生か」とがっかりされました。きっと違う人を待っていたのでしょう。

3年生がお茶の学習をしました。グループごとに4つのお茶(の葉)があり、お茶の判別をしています。**香り**で判断していたグループのところに行くと、何となくわかりました。**コーヒー**と**紅茶**と**狭山茶**とウーロン茶があると思いました。保護者の方も一緒になって考えていて、楽しい時間でした。

避難訓練、引き渡し訓練を実施しました。避難が終了するまでの**時間**や**静か**さなど合格といってもよいと思いました。ただ、100点の避難をしても助かる保証はありません。何が起きるか分からないのが災害です。その後になった引き渡し訓練でも、**想定外**のことがありました。訓練を通して**学ぶべきこと**がたくさんある活動でした。



5月19日(金) 確認・発言・学び合い

登校してきた3年生が、ホウセンカの芽を確認しに来ました。「俺のはある」「○○のはないのか」「いや、それは俺のだ」「○○○のは、昨日から出てなかった」などなどの会話が聞こえてきます。ホウセンカの芽を話題にしてこれだけ**熱心に話**をするのは、一生に今だけかもしれない。そう思うと、ホウセンカが愛おしく思えます。

ある学年の算数の時間、あることに気付いた子が**前**にやってきました。先生に指示されて出てきたのではありません。どうしても**言いたいこと**があって、先生の近くにやってきましたようです。学習する上で、どうしても言いたいことがあるなんて、**幸せな子**だと思います。そしてそれを聞いてもらえるのだから最高です。

2年生が国語で物語文の読み取りを行っていました。ワークに書き込みが終わった子は、「教えて」と言われた子に**教えて**あげていました。ただワークを見せるだけではありません。**解説**をする子もいます。気を付けてもらいたいことを**補足**している子もいます。**見やすいように持**



っている子もいます。学習を通して育つ思いやりの心を見たような気がしました。

5月18日(木) 募金・芽・熱気

緑の羽根募金、福祉・ボランティア委員会の子が実施してくれました。たくさんの子がお金をもってきてくれて、委員会担当の子もうれしかったようです。「困っている人に、このお金が届くと思うと、うれしい」と話してくれました。募金をした子も、お金を預かった子も、緑の羽根をもらった子も、渡した子も、皆、素敵な笑顔を見せてくれました。

3年生がハウセンカの芽を見せてくれました。見せてくれることは嬉しいのですが、正直よく分かりません。かなり近寄って、初めて認識できる程度の芽です。老眼の私にはもう判断が付きません。それくらいの小さな命でも、3年生の子が愛おしそうに持っている姿に感動します。「写真を撮っておいて」とも言われました。

体育館から大きな声が聞こえてくるので気になって行ってみました。近づくだけで熱気が伝わってくる体育館。中にいたのは5年生。キャンプファイヤーのダンスの練習をしているようです。私が入った時には子供たちは座っていました。でもついさっきまで踊っていた残像が残っているような熱気。この日は暑い日。休憩になると、水稲のところに踊るように向かっていきました。



5月17日(水) 朝会・プール掃除・長さ

本日は体育朝会で扇小はスタートしました。整列も前回よりも素早くなりました。一人でもできる運動や二人で行う運動が紹介され、全校で楽しく体を動かしました。二人で行う運動はゲームです。押し相撲とジャンケン握手。とっても楽しそうに活動している子には2つの共通点があることに気づきました。ルールを理解しているこ



とと本気でやろうとしていること。扇小のほとんどの子が楽しそうに体を動かしていました。

6年生がプール掃除をしてくれました。見に行くとみんなが張り切って動いていることにうれしくなりました。

「濡れた！」などと満面の笑顔で報告してくれる子もいます。ほぼびしょ濡れの子もたくさん見かけました。良い日にこの活動を設定したものです。プールはきれいになりました。体も濡れました。そして心が温かくなったはずです。

1年生が折り紙で作った模様を廊下に貼っていました。たくさんの子が自慢してくれたので「かわいいね」「素敵な模様だね」「上手にできたね」などと声をかけました。その中に「こんなに長いよ」と自慢してくれた子がいたので「本当だ！長い！」と返しました。そして「誰が一番長いか？」と問いかけました。これを聞いていた子は、ほかの子の作品も眺めて、考え始めてくれました。ねらいどおり。算数では、長さの勉強もありますから。



5月16日(火) 出発・助っ人・トイレ

朝から暑い日でした。前日までとはまるで違う感じがします。この日、2年生が遠足に出発しました。登校の時からリュックサックを背負った2年生はいつも以上に笑顔であいさつしてくれました。学校を出発するときには、多くの先生に手を振って「行ってきます！」と元気な姿を見せてくれました。暑かった日。熱中症になる子もなく、楽しい一日だったと聞きました。

5年生の算数では、ある子が代表で解決の仕方を黒板で説明していました。難しい問題でそう簡単には説明がつかないところがあります。するとある子が「助っ人」と言って、前に出てきました。その子の助っ人が終わると、後に2人が続きました。このクラスでは「助け合う」がキーワードになっているようで、とても温かい雰囲気の中で学習が進んでいました。これも自走する姿です。



1年生がトイレの使い方について話し合っていました。「困っていること」を聞かれると、「**急いでいるときにできないことがある**」という意見が出ました。「そんな時にどうする？」との先生の問いかけには「急いでいる人がいたら**譲ってあげる**」という発表がありました。困っていることの別件では「トイレの中が**うるさい**」ということが挙がりました。これには多くの子が**同感**のようです。さて、この課題、どのように**解決**していくのでしょうか。



5月15日（月）名札・デザイン・質問

ルールの変更があったためだと思いますが、名札を付けていない子が目立ちます。家に置きっぱなしの子もいれば、登校後につけることを忘れてしまう子もいます。そんな中、ある学年は名札着用指導を**徹底**しているようでほぼ全員がつけています。教室に入って、「名札を付けている人？」と聞いたときに、**全員の手**が張り切って挙がった場面です。子供たちも**誇り**に思っているようです。



あるクラスで「**学級のシンボル**に何を書くか」という話し合いが行われていました。校章、クラス名、担任のイラスト、などなどいろんな意見が出ました。前提として、目指す姿「**・・・なクラス**」を書くことは決まっています。ある子が「**何も書かない。その方が字が目立つ**」との発言に私はハッとしました。正に今私が一番考えていること。業務の目的を明確にして、必要なことだけに力を注ぐ。働き方改革のヒントをもらった気がしました。



あるクラスの学習はグループで進められていました。しばらく見ていてある**ルール**があることに気づきました。**手を挙げたところにだけ**先生が行くのです。質問があったら手を挙げることになっているようです。素晴らしいと思いました。我々教員はつい**教えすぎる**習性があります。**質問のある子だけ**に答えるのが、学習の基本であり、じょうずな子を育てる鍵になると思います。



5月14日（日） 掲示

今は、全国交通安全運動の期間です。自宅近くを歩いたら、10人近くの方が見守りをしてくれていました。私よりも年上の方ばかり。「〇〇会」というのぼり旗もありました。高齢でもお元気な方がたくさんいること。地域のことを考えて活動して下さる方がたくさんいることに、改めて感動を覚えました。



5月13日（土） 掲示

本日はやることがたくさんあって、朝から出勤しました。校内に貼る掲示物を作ったり、教室内の作品を見たり、来週使用する資料を作ったり、学校だより・校長室だよりを作ったりしました。子供たちが書いてくれた「よさ」にも目を通し始めました。校長室で悪寒を感じました。寒い日が続くそうなので、体調管理をしっかりしなくてはなりません。



5月12日（金） 除草・粘土・ビデオ

本日は朝から除草作業。学年で決められた場所をきれいにしました。昨今、雑草の生きる力には感心するほどです。抜いても抜いても生えてくる。見習いたいくらいです。教師を入れて約800人が束になって抜いても残ってしまいます。それどころか、1か月後にはまた再び勢力を広めてくるのです。「きれいにしよう」という愛校心と、「何度でも挑もう」という粘り強さが試されるような活動だと思ってしまいました。



おうぎ学級では粘土で作業をしていました。「いくら」を作っているとって小さな小さな粘土玉をたくさん作っている子。その横で、自分のペースでだんだんと大きくなる様を表現している子がいました。拡大率にもこだわりがあるようで、納得がいくまで粘土玉を並べようとし



ないのです。そんな姿を先生たちも温かい目で見えていました。安心して見守ってもらえるから、自分がやりたいことが納得がいくまでできるのだと、教えられました。

2年生の教室に、入間市図書館の職員の方がやってきました。図書館の紹介に来てくれたのです。いろんなものがあることを初めに伝えてくれました。本だけではありません。DVDやCDもあるという話です。職員の方が、VHSのビデオテープを見せて「これ分かりますか？」と聞くと、何人かの手が上がりましたが指名された子は「ラジカセ」「ラジカセ」と答えました。ビデオテープを見たことも聞いたこともない子がどんどん増えていくのでしょう。少し寂しい気持ちになりました。



5月11日（木）地震・あいさつ・笑顔

朝大きな地震があったので考えてしまいました。「今日また大地震が来たら避難できるのだろうか」。出勤してきた職員と話をし「避難場所を分かってない子が多い」ことに気が付きました。朝自習や職員打ち合わせをカットして緊急避難訓練を実施しました。教室から避難場所まで経路を確認するのが目的です。1年生にとっても、転入職員にとっても初めての避難がしっかりとできました。



毎朝あいさつ運動を行っている生活委員会の子に聞いてみました。「どんな気持ちで運動を実施しているのか」。いろんな子が答えてくれましたが、ある子がズバリ言ってくれました。「元気なあいさつが扇小に広まってほしい」。そんな思いで毎日運動をしています。最後の班が登校するまで毎日。扇小が元気である理由の1つがここにあると感じました。



埼玉県小学校長研究協議会にて、秩父出身の落語家・林家たい平氏の講演を聞きました。講演題は『笑顔のもとに笑顔が集まる』。氏は人を笑顔にしたいくて、美大を卒業後落語家を目指したそうです。「喜んで仕事をすれば、相手も喜ぶ」「一人を笑顔にできれば、たくさんの人を笑顔に



できる」「まず目の前の人を喜ばすことが大事」「人が一番うれしいのは人を助けた時と人に助けられた時」などなどたくさんの含蓄のある言葉やエピソードを聞かせてもらい、笑顔になりました。

5月10日(水) 朝会・誕生日・リコーダー

今年度一回目の講話朝会を行いました。まだ感染の危険もありますので、3学年(1, 4, 6)を体育館に集めての実施としました。他の学年は各教室です。3つの学年が集まるだけで扇小は**迫力**があります。「名札を付けている人」と司会が聞くと、約300人が手を挙げました。それだけでも**集団行動**。迫力があります。講話の内容は一つ「**自分を磨くために、しっかり話を聴こう**」。

1時間目に6年生が英語の学習をしていました。先生が英語で誕生日を訊ねると、**英語**で自分の**誕生日**を答えます。代表で答えた子がいて、その子の誕生日をあてていました。朝会で「しっかり聴く」という話をしたので、聴いている子が多くて嬉しくなりました。片言の英語で答えた誕生日が分かる子は、しっかりと聴いている子のはずです。

3年生のリコーダー研修会。私が会場である体育館に行った時には、すべて終了していました。教室に向かっている子に「どうだった?」と聞いてみると、多くの子が「楽しかった」と答えてくれました。「何が楽しかったか」を聞いてみると、ある子が「**音色がきれいだった**」と、またある子は「**大きなリコーダーに驚いた**」と具体的に教えてくれました。この話を学校を後にする指導者の方に伝えると、とても感激していました。

5月 9日(火) て・コの字・活動前

1年生がひらがなの学習をしていました。この時間は「て」を学ぶようです。先生があえて、**お手本とはならな**



い字を書きました。「気づいたことはありますか？」と問いかけると、かわいらしい張り切った手がたくさん挙がりました。先生が指名する前にある子に「何？」と小さな声で尋ねると、その子は「ヒミツ」と答えてくれました。みんなの前で言いたかったようです。

昨日の校長研修会で、佐藤学先生（東京大学名誉教授）のご講演を聞きました。その中で「全員が前を向いている学習では成果が上がらない」というお話がありました。特に低学年では、ペアや全体、先生とつながっていないと学習が成り立ちにくいという話が合ったので、2年生の先生にはすぐに伝えました。本日はさっそく学習環境が変わっていました。子供たちもいきいきと学んでいるように見えました。学習環境はとても大事だと痛感しました。

4年生の体育ではリレーをしていました。私はいつもその前の活動に興味をもってしまいます。チームごとに話し合っているのですが、たいていは順番です。それも大事ですが、どうすれば勝てるか、よりよい活動ができるかという話し合いが本当は大事です。時には意見がぶつかることもあるでしょう。この日は強めの意見も出ていましたが「仲良く話し合ってます」と、心配する私に教えてくれたチームがありました。その結果は・・・。



5月 8日（月）アリ・聴力・習字

連休明けでしたが、特に欠席が多いということもなく子供たちが元気に扇小に返ってきてくれました。朝の校庭で数人の塊を見つけました。水たまりに集まっています。何かを見えています。アリです。何に関心があるかという、泳いでいるのかおぼれているのかです。答えは出なかったようです。アリが視界から消えてしまったからです。「おぼれて死んだんだよ」という子と「泳いで奥のほうに行ったんだよ」という子の話し合いが続きました。

朝一番に保健室にやってきたのは、おうぎ学級の子たちです。聴力検査を受けるためです。養護教諭の話をしっ



かり聞いて、検査を受けることができました。待っている子同士で「静かにしよう」というサインを出し合っていたことがとっても微笑ましく感じた場面でした。学ぶことは聴くこと。大事な検査は全員が合格したようでした。

3年生の初めての習字の場面に立ち会えました。教室に入ると、ある子が「準備が大事なんです」と教えてくれました。準備が終わった子に話しかけると「楽しみです」「緊張しています」と答えてくれました。先生が「〇〇さん、完璧です」と皆にその机上を見せました。テレビ画面に自分の机上が映し出されたその〇〇さんは、照れていましたが、教室が一気に明るくなりました。



5月 7日（日）連休最終日

GWも今日で終わり。朝から雨。用事があって出かけましたが、少し歩くだけで足が濡れるほどの時間がありました。明日から新型コロナウイルスは5類となります。学校生活も多少変えていく必要があります。そんなことを午後はずっと思っていました。昇降口、放送、給食、登校、連絡、机、トイレなどなど。コロナ以前に戻すものもたくさんありそうです。



5月 6日（土）掲示

本日は仕事に来ました。道はすいていました。天気も良く気持ちよく仕事を進めました。私の車に気づいた方が校長室の窓から声をかけてくださり、話もできました。忘れ物を取りに来た子供とも話げできました。明日はUターンラッシュが始まるとのことなので、家でおとなしくしたいと思います。



5月 5日（金）こどもの日

本日はこどもの日。毎年のように「子供が減少した」「〇



年連続減少」などの記事を目にします。今年も減少したようです。小学3年生の子が、**迷子の子を救った**という記事を見ました。子供が活躍する姿は誰もがうれしいことだと思います。子供が輝く町が良い町だと思います。そして**子供の目が輝く学校**が良い学校だと思います。

5月 4日 (木) 花

ある場所に行くと、あまり見かけない花が咲いていました。近づくと、いい香りがします。聞くと「**アメリカンジャスミン**」だと教えてくれました。後で調べてみると別名が**ニオイバンマツリ**。こちらのほうが素敵な名前だと思ってしまいましたが、連休中に良い出会いがありました。



5月 3日 (水) 掲示

本日からGW。いつもより道が混んでいました。観光に出かける人が多いのでしょうか。さて本日は残務整理と行内掲示物の作成に出勤しました。親子でサッカーの練習をしている子に出会い、さわやかな**あいさつ**をしてくれたので、**張り切って**仕事を進めています。



5月 2日 (火) 遊び・自力・親切

朝、1年生の遊びに入れてもらいました。タイヤの上で行うじゃんけん橋。じゃんけんに負けたらタイヤから降りる。勝てば次のタイヤに移動する。誰も説明しない、確認しないのに、この**ルール**は徹底しています。じゃんけんなので手抜きや忖度はありません。**本気**の勝負。10分ほど楽しく遊ばせてもらいました。「校長先生**また遊ぼう**ね」という嬉しい言葉をもらいました。



5年生の算数で、うれしい場面を見ました。問題を解く場面で**学び合っている**姿があったのです。「**自分の力で**」

と「一人で」を混同している子が多い中、指導が行き届いていると思えました。「自力」とは、教えてもらうことを選択することも含みます。もちろん一人で学びたい子を邪魔してはいけませんが、一緒に考えたい子同士で知恵を出し合うことも「自力」です。決して「他力」ではありません。その活動を自分で決めているからです。

4年生の道徳では親切について考えました。なぜ親切をするのか、授業の終わりには素敵な発言が続きました。

「親切をしないと、後で後悔するから」

「親切はする人もされた人も、気持ちがいいから」

「親切は自分に返ってくるから」

「親切をすると、自分にもいいことが起こるから」
などなど。たくさんの子が自分の考えを発言し、書き、さらう友達とも意見交換していました。扇小の子は、すばらしいと改めて感じました。



5月 1日（月）わ・学び合い・委員長

1年生の勉強も、だんだんと「小学校の学習」らしくなってきました。本日はひらがなの「わ」の学習をしました。先生から「似ている字はありませんでしたか？」と聞かれると、「ね」という解答が出ました。「どこが違いますか？」と聞かれると「ねは、くるっとしている。わは、くるっとしていない」と発表してくれた子がいました。

本日、外部から指導者を招き、6年生に「学び合い」の授業をしてもらいました。難しいことをしたわけではありません。「自分だけできたことを良しとしない」「友達に分かってもらうことにも価値がある」「全員が理解することをめざす」「家に帰ってから忘れてしまうような学習はしない」といったメッセージが込められた学習を展開してくれました。本校の授業が、子供が学ぶことを中心としたもの変わっていくきっかけになればありがたいです。

本年度第一回目の委員長会議がありました。委員長が集まり「扇小をどんな学校にしたいか」について話し合い



ました。無言掃除、右側歩行、あいさつ、チャイム席、なかよく、きれい、マナー、楽しい、協力、きまり、やさしい、明るい、上下なく、自分たちで行動、思いやり、などなどのキーワードが上がってきました。さすがです。たくさん出たので、同じ方向を目指すためにどうするか、話し合いは終わりませんでした。

